



メンタルヘルス業界 /
臨床心理士

MEDI心理カウンセリング大阪
臨床心理士

松本春花さん

京都市立銅駝美術工芸高等学校出身
2011年 臨床心理専門職大学院修了

夢は、カウンセリングがごく一般的になり
生活の充実に利用されることです。

大阪扇町のマンションの一室が臨床心理士・松本春花さんの職場です。ここでカウンセリングを行い、多くの人の悩みや胸の内を聴いています。もともとは美術系の高校に通い、イラストレーターやデザイナーを志望していたという松本さんが現在の職業を選んだのは、フロイトなど心理学への興味から。人に興味を持ち、人間観察をしているうちに「話すことを通じて誰かの力になりたい」と思ったそうです。

人によって異なる悩みと、その人に対して必要な対応。カウンセリングで少しでも笑顔を取り戻してもらうために「毎日が勉強」だと言います。実際に松本さん自身、心理療法を学ぶ中で今でも新しい「自己発見」をすることがあるとか。「100~200種はあるといわれている心理療法を、必要なものはできるだけ多く習得して活用したい。将来は、鬱の人に^{うつ}限らず一般の人にも上手にカウンセリングを利用して生活の充実に図ってもらえたらと、心理的問題の解決だけでなく、自分を見つめ、前向きになる手段としての心理療法の未来像を話してくれました。

松本さんはカウンセリングの仕事の一方で、臨床心理士の育成も職場で行っています。「多くの人と出会い、会話を通じて理解を深め、そして視野を広げること」。臨床心理士を目指すなら、いろいろなことを経験し、物の見方を柔軟にすることが必要だと思っているそうです。

カウンセリングに訪れた人の気持ちが楽になり、つらさが緩和され、笑顔が戻る。改善の報告を受けることが何よりうれしい「生きがい」だと言う松本さんは終始、柔らかな笑顔で語ってくれました。

ある1日の
スケジュール

9:30	出社
10:00	カウンセリング1(45分間)
11:00	カウンセリング2(45分間)
12:00	カウンセリング3(45分間)
13:00	昼食・休憩 メールチェック、電話対応など 雑務
14:00	カウンセリング4(45分間)
19:00	退社



カウンセリング中に使うメモとペン。次回予約の確認などのため、スケジュール帳も必須アイテムです。

Clinical Psychologist